

令和3年度

2級管工事施工管理技術検定 第一次検定(後期) 受検の手引

申込受付期間

令和3年7月13日(火)～7月27日(火)[消印有効]

試験日

令和3年11月21日(日)

この手引は、申込書提出後も必要となりますので、大切に保管してください。

国土交通大臣指定試験機関

一般財団法人 全国建設研修センター

はじめに

2級管工事施工管理技術検定は、建設業法に基づき、建設工事に従事する施工技術の確保、向上を図ることにより、資質を向上し、建設工事の適正な施工の確保に資するもので、国土交通大臣指定試験機関である一般財団法人全国建設研修センターが実施する国家試験です。

2級管工事施工管理技術検定は、令和3年度から第一次検定及び第二次検定によって行われ、第一次検定に合格すれば必要な実務経験年数を経て第二次検定の受検資格が得られます。第一次検定合格者は所要の手続き後「2級管工事施工管理技士補」、第二次検定合格者は所要の手続き後「2級管工事施工管理技士」と称することが出来ます。

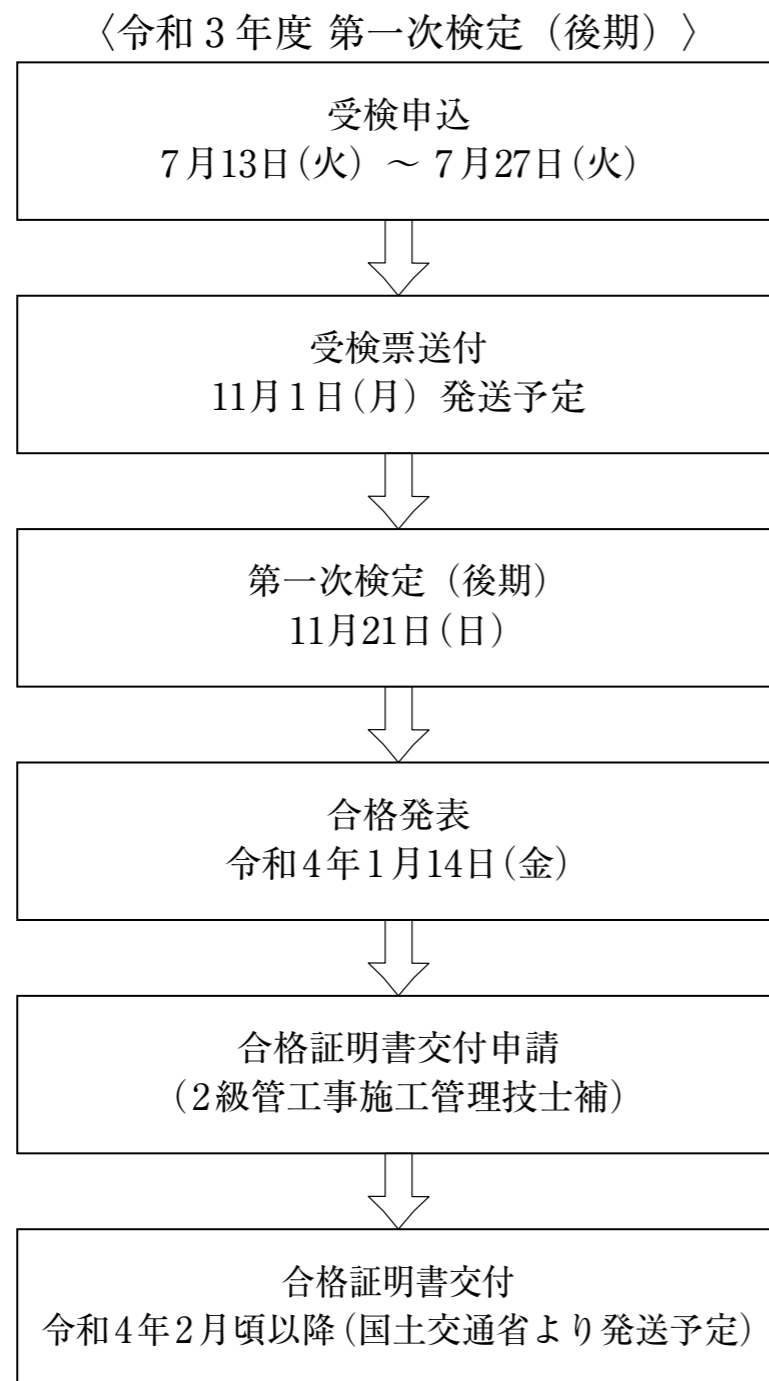
本手引は、2級管工事施工管理技術検定の第一次検定の申込みをするため、受検資格、必要な諸手続、提出書類、申込書類の作成要領、試験要領等についてまとめたものです。

申込みされる方は、本手引に従って、検定試験の申込みをして頂くようにお願いします。

目次

1. 2級管工事施工管理技士補の資格取得まで	5
2. 受検資格と提出書類	6
3. 申込書類の作成方法について (A票・C票・D票の作成)	8
4. 受検申込受付期間・申込方法等について	12
5. 受検手数料	12
6. 受検取消について	12
7. 住所変更等について	12
8. 受検票の送付について	13
9. 受検地変更について	13
10. 試験日時・試験地・試験の内容について	14
11. 受検に際しての注意	15
12. 障がいのある方を対象とした受検に関する手続きについて	16
13. 試験問題等の公表について	17
14. 合格発表について	17
15. 合格証明書の交付申請手続きについて	17
16. (参考)第二次検定の受検について	18
17. よくある質問	19
18. (様式ロ)住所・氏名・本籍・受検希望地変更(訂正)届について	20
19. (様式ハ)受検辞退届(受検申込後の取消手続きについて)	21

1. 2級管工事施工管理技士補の資格取得まで



2. 受検資格と提出書類

(1) 受検資格

令和3年度中における年齢が17歳以上の者（※誕生日が平成17年4月1日までの者）
※すでに2級管工事施工管理技士の資格を取得済みの方は、再度の受検申込みはできません。

(2) 申込みに必要な提出書類

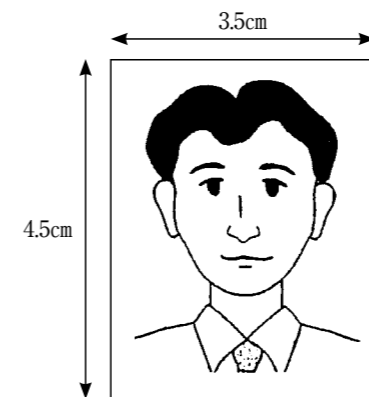
申込みに、**A票**、**C票**、**D票**と下記の①、②、③の提出が必要です。

① 住民票（コピーは不可）

- ・受検申請者の「氏名」「生年月日」が確認できるものであれば発行年月日は問いません。
- ・以下の方は住民票の提出は不要です。
※住民票コード（11桁の数字）を**C票**に正確に記入した方。
（住民票コードの書き間違い等でデータの照会ができなかった場合は、住民票を提出していただきます）
※添付書類が旧姓のため戸籍抄本の提出が必要な方。
- ・外国籍の方は、国籍の記載のある住民票を提出してください。
（住民票コードでは国籍の確認ができません）

② 証明用写真（パスポート用）（**C票**に貼付）

試験当日、申込時に提出した写真で本人確認を行いますので、本人確認しやすい鮮明な写真を提出してください。提出された証明用写真を審査した結果、規格に合わない判断した場合、再度撮りなおして再提出して頂きます。なお、申込時に提出した写真は、合格証明書に印刷されます。



提出写真の規格

- ・パスポート用（縦4.5cm×横3.5cm）
- ・6か月以内に撮影したもの（カラーでも白黒でも可）
- ・正面、無帽、無背景
- ・鮮明であること（焦点が合っていること）
- ・明るさやコントラストが適切であり、影のないもの
- ・前髪などにより、目元や輪郭が隠れていないこと
- ・眼鏡のレンズに光が反射していないこと
- ・サングラスやマスク等を着用していないもの

※**C票**の写真貼付欄のシールをはがして貼ってください。
（写真の裏面に級別、氏名、受検希望地を必ず記入してください。）

③ 振替払込受付証明書（お客さま用）（**D票**に貼付）

- ・受検手数料は、同封の振替払込用紙で必ず個人別に郵便局の窓口で5,250円を払込み、振替払込受付証明書（お客さま用）の原本を**D票**の貼付欄に全面的りづけしてください。
※郵便局の「日附印」が無いものおよびコピーは受付できません。
- ・振替払込請求書兼受領証は、領収書に代わるものですので受検申込者本人が保管してください。
- ・ゆうちょ銀行（郵便局）のATMを利用して払込む場合は、ご利用明細票しか出ませんので、控えとして必ずコピーをとり、ご利用明細票の原本を**D票**に貼付してください。
- ・ネットバンキングや電信振替（口座振替）での払込みは受け付けておりません。
- ・ミシン目で繋がった**C票**とは同じ番号で管理しますので、申込書を2部以上購入された方は、払込用紙と**C票**を入れ違えて払込みされませんようご注意ください。

3. 申込書類の作成方法について (A票・C票・D票の作成)

(3) 受検申込みに際しての注意

2級管工事施工管理技術検定は、第一次検定に合格すると2級管工事施工管理技士補、第二次検定に合格すると2級管工事施工管理技士の資格を取得することができます。

※第二次検定を受検するためには第一次検定に合格後、第二次検定の所定の実務経験が必要になります。
(第二次検定の受検資格については当センターホームページを参照してください。)

(1) A票、C票、D票作成の際の基本的な注意事項

- ①必ず受検申込者自身が記入してください。
- ②黒のペンまたはボールペン（鉛筆及び消せる筆記用具は不可）で記入してください。
- ③年齢は、令和3年7月31日現在で記入してください。
- ④提出後の加筆訂正はできません。

(2) A票の作成方法

A票 R3 第一次検定(後期)	履 歴 票 A-2																																																																											
<div style="text-align: right; font-weight: bold; margin-bottom: 5px;">A-1</div> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">2級管工事施工管理技術検定受検申請書</p> <p style="font-size: small;">2級の技術検定を受けたいので、関係書類を添付して申請します。</p> <p style="text-align: center;">国土交通大臣指定試験機関 一般財団法人 全国建設研修センター理事長 殿</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">(作成日) 令和3年7月17日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">フリガナ</td> <td>コダイラ ヒロシ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>小平 浩</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">受 検 種 目</td> <td>管 工 事 施 工 管 理</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">第一次検定受検希望地</td> <td style="text-align: center; font-size: large;">東 京</td> </tr> </table>	フリガナ	コダイラ ヒロシ	氏名	小平 浩	受 検 種 目	管 工 事 施 工 管 理	第一次検定受検希望地	東 京	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; font-size: x-small;">受検希望地</td> <td style="text-align: center; font-size: large;">東 京</td> <td style="width: 10%; font-size: x-small;">受検番号</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">フリガナ</td> <td>コダイラ ヒロシ</td> <td style="font-size: x-small;">生年月日(年齢)</td> <td style="font-size: x-small;">昭和(平成)</td> <td style="text-align: center;">16年3月10日生 (満17年0ヵ月)</td> <td style="font-size: x-small;">本籍</td> <td style="text-align: center;">東京 都府県</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">フリガナ</td> <td>トウキョウト マチダシ アイオイ 2-△-× ○○ハイツ ××ゴウシツ</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">現住所</td> <td colspan="5">東京都 町田市 相生 2-△-× ○○ハイツ ××号室 TEL(自宅又は携帯) 042-XXXX-XXXX</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">学校又は勤務先</td> <td colspan="5">東京都立○△工業高等学校</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">学校又は勤務先所在地</td> <td colspan="5">東京都 町田市 上山口 3-△ TEL 042-XXXX-XXXX</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">最終学歴及びその一つ前の学歴</td> <td style="font-size: x-small;">学校・学部名</td> <td style="font-size: x-small;">学 科 名</td> <td style="font-size: x-small;">在 学 期 間 (修業年限)</td> <td colspan="2" style="font-size: x-small;">卒業又は 在学の別</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都立○△工業高等学校</td> <td>設備科○○コース</td> <td>H31年4月～ R4年3月 (3年0ヵ月)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">卒業 (在学)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>年 月～ 年 月 (年 ヵ月)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">卒業 在学</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">受検資格に直接関係のある試験・検定・免許</td> <td style="font-size: x-small;">名 称</td> <td style="font-size: x-small;">試験もしくは検定に合格した年月日または免許を受けた年月日</td> <td colspan="3" style="font-size: x-small;">備 考</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	受検希望地	東 京	受検番号				フリガナ	コダイラ ヒロシ	生年月日(年齢)	昭和(平成)	16年3月10日生 (満17年0ヵ月)	本籍	東京 都府県	フリガナ	トウキョウト マチダシ アイオイ 2-△-× ○○ハイツ ××ゴウシツ					現住所	東京都 町田市 相生 2-△-× ○○ハイツ ××号室 TEL(自宅又は携帯) 042-XXXX-XXXX					学校又は勤務先	東京都立○△工業高等学校					学校又は勤務先所在地	東京都 町田市 上山口 3-△ TEL 042-XXXX-XXXX					最終学歴及びその一つ前の学歴	学校・学部名	学 科 名	在 学 期 間 (修業年限)	卒業又は 在学の別			東京都立○△工業高等学校	設備科○○コース	H31年4月～ R4年3月 (3年0ヵ月)	卒業 (在学)					年 月～ 年 月 (年 ヵ月)	卒業 在学		受検資格に直接関係のある試験・検定・免許	名 称	試験もしくは検定に合格した年月日または免許を受けた年月日	備 考						-		
フリガナ	コダイラ ヒロシ																																																																											
氏名	小平 浩																																																																											
受 検 種 目	管 工 事 施 工 管 理																																																																											
第一次検定受検希望地	東 京																																																																											
受検希望地	東 京	受検番号																																																																										
フリガナ	コダイラ ヒロシ	生年月日(年齢)	昭和(平成)	16年3月10日生 (満17年0ヵ月)	本籍	東京 都府県																																																																						
フリガナ	トウキョウト マチダシ アイオイ 2-△-× ○○ハイツ ××ゴウシツ																																																																											
現住所	東京都 町田市 相生 2-△-× ○○ハイツ ××号室 TEL(自宅又は携帯) 042-XXXX-XXXX																																																																											
学校又は勤務先	東京都立○△工業高等学校																																																																											
学校又は勤務先所在地	東京都 町田市 上山口 3-△ TEL 042-XXXX-XXXX																																																																											
最終学歴及びその一つ前の学歴	学校・学部名	学 科 名	在 学 期 間 (修業年限)	卒業又は 在学の別																																																																								
	東京都立○△工業高等学校	設備科○○コース	H31年4月～ R4年3月 (3年0ヵ月)	卒業 (在学)																																																																								
			年 月～ 年 月 (年 ヵ月)	卒業 在学																																																																								
受検資格に直接関係のある試験・検定・免許	名 称	試験もしくは検定に合格した年月日または免許を受けた年月日	備 考																																																																									
			-																																																																									

A-1 および A-2 作成時の注意事項

- ・氏名・生年月日・本籍は、住民票に記載されているとおりに記入してください。
- ・現住所は郵便番号、アパート名、団地名、棟番号、室番号、同居先名まで正確に記入してください。
(住民票と一致しない住所でも構いません)
- ・最終学歴は、高等学校以上の学歴について記入してください。

(4) D票の作成方法

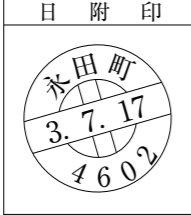
- ①振替払込受付証明書の原本を貼付してください。(詳細は6ページ参照)
- ②ゆうちょ銀行(郵便局)のATMで払い込んだ方は、ご利用明細票の原本を貼付してください。

(貼付例)

D票 R3 第一次検定(後期)		受検 番号	※
氏名	小平 浩	受検 希望地	東 京

受検手数料 振替払込受付証明書 貼付欄

振替払込受付証明書(お客さま用) (ご依頼人⇒郵便局・ゆうちょ銀行⇒ご依頼人)	
口座 記号番号	00100-0-xxxxxx
加入者名	一般財団法人 全国建設研修センター
払込金額	億 千 百 十 万 千 百 十 円 5 2 5 0
ご依頼人	※ 東京都 町田市相生 2-△-× ○○ハイツ ××号室
住所氏名	小平 浩 R3 2級管工事 一次
日 附 印	
この証明書を貼付してください。	
(承認番号東証第1075号)	



4. 受検申込受付期間・申込方法等について

受付期間	令和3年7月13日(火)～7月27日(火)
提出先	一般財団法人全国建設研修センター 管工事試験課 〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2 TEL 042-300-6855

- ①締切日7月27日(水)の消印まで有効です。それ以降のものはいかなる理由があっても受け付けません。
- ②申込書類一式を指定の申込用封筒に入れ、受検申込者個人別に郵送してください。
- ③必ず郵便局の窓口で、簡易書留郵便で郵送してください。ポストに投函しないでください。
- ④消印の付かない郵便(料金別納・料金後納)については締切日までに到着したものに限り受け付けます。
- ⑤一つの封筒に複数人の申込書類を同封して郵送した場合は、申込みを受け付けません。
- ⑥宅配便等を利用した申込みや直接持参による申込みは、固くお断りします。
- ⑦申込書類に不備や不足があると受検できませんので、必ず本人が記入・確認のうえ郵送してください。
- ⑧提出書類は返還いたしません。

5. 受検手数料(5,250円)

- ①受検手数料の払込みだけでは受検申込とはなりません。必ず受検申請書の提出が必要です。
- ②受検手数料は消費税非課税です。

6. 受検取消について

- ①10月18日(月)(消印有効)までに(様式ハ)受検辞退届を郵送された方に限り、受検申込の取消を受け付けます。
- ②受検手数料は、郵送料・為替発行料を差し引いた金額を普通為替で返還いたします。(12月下旬予定)
- ③(様式ハ)受検辞退届(21ページ)をコピーして必要事項を記入し、以下の宛先までお送りください。

【郵送先】
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2 一般財団法人 全国建設研修センター 管工事試験課「受検辞退係」

7. 住所変更等について

申込書類の提出後に住所(受検票の送付先)、氏名、本籍(都道府県)等に変更があった場合は、20ページの「(様式ロ)住所、氏名、本籍、受検希望地変更(訂正)届」をコピーし、必要事項を記入のうえ、以下の宛先まで郵送してください。

氏名を変更した方は戸籍抄本(または旧姓が併記された住民票)を添付し、受検希望地、受検番号(受検票を受け取って番号がわかる方)、氏名(フリガナ)、生年月日、新氏名(フリガナ)を明記してください。
※(様式ロ)が未提出の場合は、受検票や可否通知が届かない場合がありますので必ず提出してください。

【郵送先】
〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2 一般財団法人 全国建設研修センター 管工事試験課「住所変更係」

8. 受検票の送付について

受検票は11月1日(月)に発送予定です。

- ①受検票（ハガキ）は普通郵便で発送します。
- ②受検票が届かない方は、11月8日(月)以降にお問い合わせください。
- ③受検資格のない方および書類不備等により受検できない方には、事前に文書にて通知します。
- ④受検票を受け取りましたら、受検種目、試験日時、試験会場、受検番号を必ず確認し、大切に保管してください。
- ⑤受検票を紛失した方は、必ず事前に管工事試験課へ問い合わせ、受検番号・試験会場等を確認のうえ試験当日に試験会場の受付で再発行を受けてください。（顔写真付きの身分証明書をご持参ください）
- ⑥試験会場については当センターホームページ上でも公表します。
- ⑦試験会場へ直接の問い合わせはご遠慮ください。

9. 受検地変更について

- ①試験地の変更は原則として認めておりません。ただし転勤・転居等のやむを得ない事情で変更を希望される場合は、11月15日(月)までに次のA～Dを以下の宛先までお送りください。

A. (様式口) 変更届……………20ページ「(様式口) 住所・氏名・本籍・受検希望地変更(訂正)届」をコピーし、必要事項を記入してください。

B. 受検票の写し……………受検票をまだ受け取っていない方は不要です。

C. 変更理由の証明……………転勤辞令や出張命令書等のコピーを提出してください。

D. 返信用封筒……………宛先明記の84円切手を貼ったもの。(長形3号)
(速達を希望される方は合計374円分の切手を貼ってください)

- ②住所（今後の文書等のお送り先）が変更になる方は、新住所も忘れずに記入してください。
- ③受検地変更承認後、お送り頂いた返信用封筒で「受検地変更許可書」を郵送しますので、指定した会場で受検してください。
- ④受検地変更許可書が届かない方は、必ず11月19日(金)までにお問い合わせください。

【郵送先】

〒187-8540 東京都小平市2-1-2
一般財団法人 全国建設研修センター 管工事試験課「受検地変更係」

10. 試験日時・試験地・試験の内容について

(1) 試験日 令和3年11月21日(日)

(2) 試験時間

入室時間	10時15分まで
受検に関する説明	10時15分～10時30分
試験時間(第一次検定)	10時30分～12時40分

(3) 試験地

札幌・青森・仙台・宇都宮・東京・新潟・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇

※試験会場は、受検票でお知らせします。

※試験会場の確保等の都合により、やむを得ず近郊の都市で実施する場合がありますのでご了承ください。

(4) 試験の内容

次の試験科目の範囲とし、解答はマークシート方式で行います。

検定区分	検定科目	検定基準
第一次検定	機械工学等	1. 管工事の施工の管理を適確に行うために必要な機械工学、衛生工学、電気工学、電気通信工学及び建築学に関する概略の知識を有すること。 2. 管工事の施工の管理を適確に行うために必要な設備に関する概略の知識を有すること。 3. 管工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書を正確に読みとるための知識を有すること。
	施工管理法	1. 管工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する基礎的な知識を有すること。 2. 管工事の施工の管理を適確に行うために必要な基礎的な能力を有すること。
	法規	建設工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する概略の知識を有すること。

(5) 合格基準

次の基準以上の者を合格とします。ただし、試験の実施状況等を踏まえ、変更する可能性があります。

・第一次検定 得点が60%以上

(6) 個人の成績の通知

成績の通知は以下のとおり行います。なお、通知する成績については全体の結果のみとし、設問ごとの得点等については通知いたしません。

・第一次検定 ○○問 正解

※通知した成績に係る問い合わせにはお答えできません。

※合格者については成績の通知は行いません。また問い合わせにもお答えできません。

11. 受検に際しての注意

- ※事前に交通機関、経路、所要時間などを確認し、遅刻しないように早めに試験会場にお出かけください。
- ※試験会場及びその付近には駐車・駐輪できませんので、自動車・バイク等での来場はお断りします。公共交通機関（電車・バス等）をご利用ください。駐車違反等の呼び出しで試験室を離れた場合は、再入室できません。

(1) 受検当日に必要なもの

- ①受検票
- ②筆記用具（HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、プラスチック消しゴム）
※マークシート方式では、万年筆、ボールペンでの記入は機械が読み取りませんので禁止します。
※電卓等は使用できません。
- ③時計（計算機能、辞書機能、通信機能を持つ時計及び携帯電話による時計機能の使用は不可）

(2) 試験会場における注意

- ①試験当日は10時00分までに来場し、受検票の受検番号によって指定された試験室に入室し、その番号の席につき、受検票は机の上に置いてください。（受検票がないと受検できません。）
- ②受検票を忘失した方は、試験当日に試験会場の受付で再発行の手続きを行ってください。（顔写真付きの身分証明書をご持参ください。）
- ③試験室内での言動は、試験監督者の指示に従ってください。
- ④試験開始後1時間以内及び試験終了時刻10分前以降は退室できません。
- ⑤試験問題・解答用紙の持ち帰りはできません。ただし、試験問題は試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、退室時及び試験終了後の持ち帰りはできません。
- ⑥解答用紙を試験室から持ち出すことを禁止します。持ち出した場合は、不正行為となります。また、解答用紙が未提出の場合は、失格となります。
- ⑦受検票及び座席票への試験問題・解答の書き写しは禁止します。
- ⑧不正行為を行った者及び試験監督者の指示に従わない者には、退場を命じます。
- ⑨試験室内では携帯電話等の電子機器の電源を切り、指定の封筒に入れカバン等にしまってください。また、時計代わりの使用も禁止します。
- ⑩試験中、机の上に置いてよいものは、「受検票」「鉛筆又はシャープペンシル」「プラスチック消しゴム」「時計」だけです。その他のもの（筆箱・飲み物等）は机の上に置かないでください。
- ⑪喫煙は、指定の場所以外のところでは厳禁です。（試験会場により、場内禁煙となる場合があります。）
- ⑫自動車・バイク等での来場はお断りします。

12. 障がいのある方を対象とした受検に関する手続きについて

- 障がいのある方で、試験当日に試験会場において配慮が必要な方は、試験日の1ヶ月前までに以下のような手続きが必要です。
- ※過去に手続きを行った方も改めて手続きを行う必要があります。

(1) 申込に際しての前提条件

障がいのある方で、本検定を受検しようとする場合は、以下の3つの条件を満たしていることが必要となります。

1. 本検定の受検資格を有すること
2. 工事現場において施工管理技士補としての業務を遂行できること
3. 受検者単独で受検できること

(2) 手続き方法について

一般財団法人全国建設研修センター管工事試験課までお電話いただき、障がい等の内容（病状・程度）等をお聞かせください。

また、当方より「特別受検申請書」用紙をお送りいたしますので、以下①～②の書類を一括して試験日の1ヶ月前までに当センターへお送りください。

- ①特別受検申請書
- ②障害者手帳のコピー等

※ご提出いただきました書類により、後日、電話にてご連絡差し上げることがあります。

※障がい等の症状・程度により、あるいは、試験会場の設備などにより、全てのご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

13. 試験問題等の公表について

第一次検定（後期）の試験問題及び正答肢は、当センターホームページで、令和3年11月22日（月）13時から1年間公表します。

14. 合格発表について

合格発表日	令和4年1月14日(金)
ホームページ公表期間	令和4年1月14日(金)午前9時～1月28日(金)

(1) 合否通知の発送及び合格者の受検番号の掲示

令和4年1月14日(金)付けで第一次検定（後期）合格者及び不合格者に、当センターから本人あてに文書で通知します。欠席者への通知はありません。

また、当センターで全地区の第一次検定合格者の受検番号を掲示するほか、国土交通省各地方整備局、北海道開発局、内閣府沖縄総合事務局では、当該地区の第一次検定合格者の受検番号を令和4年1月14日(金)から1月28日(金)まで掲示します。

なお、当センターホームページでは、上記期間において、第一次検定（後期）合格者の受検番号を公表します。
※試験問題、解答の内容及び個人得点等に関する問い合わせには、一切応じられません。

(2) 合否通知が未着の場合

1月21日(金)を過ぎても合否通知が届かない場合は、当センター管工事試験課にご連絡ください。受検者本人の問い合わせに限り、合否の結果をお伝えします。

「個人情報の保護に関する法律」により、本人以外の問い合わせにはお答えできません。

※当センター以外では、電話による合否の問い合わせには一切受け付けません。

15. 合格証明書の交付申請手続きについて

第一次検定の合格者は、国土交通省各地方整備局長・北海道開発局長・内閣府沖縄総合事務局長に対し合格証明書の交付申請手続きが必要です。（詳細は合格通知をご確認ください）

交付申請受付期間内に申請をした方には、令和4年2月頃以降（発送予定）、「2級管工事施工管理技術検定第一次検定合格証明書」が本人あてに交付されます。

※外国籍の方については、住民票に記載された氏名（本名）が合格証明書に記載され、通称名はカッコ書きで併記されます。

※合格証明書には、合格者の写真が印刷されます。

16. (参考) 第二次検定の受検について

(1) 第一次検定免除

第一次検定に合格した方は、期間や回数の制約なく第二次検定を受検できます。

(2) 第二次検定の受検資格

第一次検定合格者で、別表に示す所定の実務経験を満たした者。

※必要とされる実務経験年数は、最終学歴に応じて異なります。

※実務経験は第一次検定合格前のものでも構いません。

[別表] 第二次検定の受検に必要な実務経験年数

最終学歴	管工事施工管理に関する必要な実務経験年数	
	指定学科	指定学科以外
学校教育法による 大学 専門学校の「高度専門士」※1	卒業後1年以上 の実務経験年数	卒業後1年6か月以上 の実務経験年数
学校教育法による 短期大学 高等専門学校(5年制) 専門学校の「専門士」※2	卒業後2年以上 の実務経験年数	卒業後3年以上 の実務経験年数
学校教育法による 高等学校 中等教育学校(中高一貫6年) 専修学校の専門課程	卒業後3年以上 の実務経験年数	卒業後4年6か月以上 の実務経験年数
その他(最終学歴を問わず)	8年以上の実務経験年数	
技能検定合格者 職業能力開発促進法による技能検定のうち検定職種を1級の「配管」(建築配管作業とするものに限る以下同じ)又は2級の「配管」とするものに合格した者	4年以上の実務経験年数 ただし、1級「配管」(建築配管作業)の資格を取得した者又は、平成15年度以前に2級「配管」(建築配管作業)の資格を取得していた者は、実務経験の記載は不要です。 職業能力開発促進法施工規則の一部を改正する省令(平成15年12月25日厚生労働省令第180号) (改正前の職業訓練法施工令(昭和48年政令第98号)による「空気調和設備配管」若しくは「給排水衛生設備配管」又は「配管工」を含む)	

※1 修業年限が4年以上等の要件を満たしたもので、文部科学大臣が指定した課程の修了者に、高度専門士の称号が付与されます。

※2 修業年限が2年以上等の要件を満たしたもので、文部科学大臣が指定した課程の修了者に、専門士の称号が付与されます。

※令和2年度以前に「学科試験」のみを受検し合格した方の「第二次検定」のみでの受検可能期間は、設定されている免除期間内での連続する2回までは「第二次検定」のみで受検可能です。それ以降は、再度第一次検定からの受検となります。

17. よくある質問

- Q. 住民票及び住民票コードは、両方必要ですか？
 A. 住民票を添付するか、住民票コード（11桁）を記入するか、いずれかが必要です。ただし、外国籍の方は必ず住民票を添付してください。
- Q. 住民票は住民票コードと本籍地記載のものが必要ですか？また、現住所と違うものでも大丈夫ですか？
 A. 住民票コードと本籍地は、どちらも省略したもので構いません。住所が現住所と一致していなくても構いません。
- Q. 住民票の発行年月日は？
 A. 発行年月日は問いません。ただし、コピーは不可です。
- Q. 申込後に氏名、本籍、住所（受検票等の送付先）が変わりました。どうすればよいですか？
 A. 20ページの「(様式ロ)住所・氏名・本籍・受検希望地変更(訂正)届」に必要事項を記入し、住所変更係宛に郵送してください。(郵送先は12ページ参照)
- Q. 試験問題、解答の内容等について問い合わせできますか？
 A. 内容等については一切お答えできません。
- Q. 講習会や参考書は紹介してもらえますか？
 A. 当センターは試験実施機関であり、公平性の観点から事前の講習会等は実施しておりません。また、参考書等につきましても紹介等は行っておりません。
- Q. 試験会場を教えてくださいませんか？
 A. 受検票の発送をもって試験会場をお知らせしています。それまでは会場は確定していません。また、毎年同じ会場とは限りません。
- Q. 試験当日に急な用事が入ったため受検できなくなったのですが、何か手続きが必要ですか？
 A. 受検辞退の締切日前（12ページ参照）でしたら、(様式ハ)受検辞退届を提出した方に限り、受検手数料を返還いたします。締切日後は受検手数料を返還できませんので、特に手続きは不要です。試験当日そのまま欠席していただいて結構です。
- Q. 第一次検定に合格したら、第二次検定の申込書は送付されてくるのですか？
 A. 送付いたしません。
 第二次検定を受検する際は、ご自身で「第二次検定」の申込書を購入してください。

18. (様式ロ)住所・氏名・本籍・受検希望地変更(訂正)届について

※申込書類提出後に変更が生じた場合、このページをコピーして使用してください。
 ※該当項目のみ記入してください。

第1次後期

令和3年度 2級管工事施工管理技術検定 第一次検定(後期) (様式ロ)住所・氏名・本籍・受検希望地変更(訂正)届

申込時の試験地

--

申込時の氏名

受検番号	フリガナ		生年月日
	氏名		昭和 年 月 日 平成

※受検番号がわかる方は記入してください。

① 新住所(受検票等の送付先)

※マンション・アパート等は部屋番号まで詳しく正確に記入してください。
 ※送付先を学校(又は勤務先)にする場合は、学校(勤務先)住所、学校(勤務先)名・学科(所属)まで詳しく正確に記入してください。

フリガナ	(〒 -)
新住所	

※手引の「住所変更等について」をよく読んで記入してください。なお、住民票の提出は不要です。

② 氏名変更(戸籍抄本(または旧姓が併記された住民票)を提出してください)(コピー不可)

フリガナ	(氏)	(名)	→	フリガナ	(氏)	(名)
旧氏名				新氏名		

③ 本籍変更

旧本籍	→	新本籍
-----	---	-----

※同一都道府県内での変更は届出の必要はありません。

④ 受検希望地変更(手引の「受検地変更について」をよく読んでください)

申込時の試験地	→	変更後の試験地	変更理由

※変更内容について、お電話で確認する場合がありますので、日中連絡の取れる電話番号をご記入ください。

(自宅・携帯・勤務先) _____

19. (様式ハ) 受検辞退届 (受検申込後の取消手続きについて)

- (1) このページをコピーして必要事項を記入し、受検取消の締切日（消印有効）までに以下の宛先まで郵送した方に限り、受検申込の取消を受け付けます。締切日後については、いかなる理由でも受検の取消はできません。（12ページ参照）
- (2) 受検手数料から郵便料・為替発行料を差し引いた金額を、普通為替で返還いたします。（返還は12月下旬予定）

【郵送先】

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2
一般財団法人 全国建設研修センター 管工事試験課「受検辞退係」

(様式ハ) 受検辞退届

令和3年度2級管工事施工管理技術検定第一次検定（後期）の受検申込をしましたが、下記理由により受検できなくなったため、受検を辞退します。

令和3年 月 日
一般財団法人 全国建設研修センター 管工事試験課 御中

フリガナ	
申込者氏名	
生年月日	(昭和 ・ 平成) 年 月 日
辞退理由	
日中に連絡がとれる連絡先	(自宅・携帯・勤務先)
受検手数料の返還先住所	〒

本人署名・捺印



ご 注 意

近年、一般財団法人全国建設研修センターと非常に似た名称を用い、あたかも国家資格につながる業務を扱っている団体であるかのように勧誘し、申込手続きの代行等を行っている業者がありますが、当センターとは全く関係のない業者です。当センターは、出先機関や代行機関は一切設置しておりません。

申込みは、受検者本人が当センターあてに直接簡易書留で郵送してください。

●不正行為に対する受検禁止措置について

申込書類の記載等に不備がある場合や、試験当日に不正が発覚した場合、受検もしくは合格を取り消し、3年以内の期間を定めて受検を禁止されることがあります。

一般財団法人 全国建設研修センターのプライバシーポリシー

- ・一般財団法人 全国建設研修センターは、個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を遵守し、受検申込者の個人情報の保護に努めます。
- ・当センターは、受検申込みの際に試験業務の遂行上必要な事項として受検申込者の氏名、生年月日、本籍、住所等の個人情報を収集します。なお、これらの情報は、試験を実施するための重要な情報として利用し、それ以外の目的では利用しません。
- ・受検申込者個人を特定する情報は、外部に対して一切公開、提供しません。
- ・受検申込みの際にご提出いただいた申請書類の内容を外部に公開、提供することはありません。また、外部から個人情報の公開提供の依頼があっても、当センターは法令等に基づきその要請を拒否し、受検申込者の個人情報の保護に努めます。ただし、法令等に基づく公的機関からの要請により開示しなければならない場合は、個人情報を提供する場合があります。
- ・個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩等の防止に努めます。
- ・ただし、合格証明書の交付を受けた方の情報(資格区分、証明書番号、氏名、生年月日、取得年月日)は、公共工事の発注者(国、地方公共団体、特殊法人等)において、建設業者の資格審査や施工体制の確認等を目的として利用されません。

国土交通大臣指定試験機関

一般財団法人 **全国建設研修センター** 管工事試験部

〒187-8540 東京都小平市喜平町2-1-2

T E L 042-300-6855

ホームページアドレス <https://www.jctc.jp/>

電話によるお問い合わせ対応時間 9:00~17:00

土・日曜日・祝祭日は休業日です。

※お問い合わせの際は、おかけ間違いのないようご注意ください。

『申込用紙・受検の手引』 共で1部600円

落丁本、乱丁本は取扱所でお取替えいたします。(不許複製)